

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	広報業務		所管課 【2】	秘書課
			評価者(担当者)	平田 巖
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑥みんなで進める協働のまちづくり		
	主要施策(節)	(4)情報公開の推進		
	施策区分	(3)行政情報発信の充実		
(市民意識調査結果)		<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域	<input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域	<input type="checkbox"/> 【C】観察領域
		<input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】			
	<input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】			
	<input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 2 項 1 目 2 細目 1			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	市からのお知らせ等は、全ての市民に情報提供をしなければならない。そのため、広報紙を使って広く市民への周知を図る。また本市のイベント等の魅力ある情報は、市内外にアピールし、集客等を図るため、ホームページやラジオ放送を使って積極的に情報発信に努める必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、市外の方々
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	市からの情報を的確に市民へ伝達する。また各種イベント等の魅力ある情報を市内外へ発信し、本市への集客を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度											
	【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】											
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】											
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】											
事務事業の具体的内容 【14】	市民に対して伝達すべき市の情報を、分かり易く的確に構成し、広報たまなやホームページをとおして市民に伝達する。また本市で行われるイベント等をFM熊本に情報提供し、ラジオ放送をとおして広く市内外に発信する。さらに市勢要覧を5年に1回作成し、本市の魅力や施策を市内外にアピールする。											
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">事務事業を構成する細事業 【15】</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>広報たまな作成業務</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>ホームページ保守業務</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>ラジオ放送委託業務</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>市勢要覧作成業務</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>玉名市ホームページシステム環境構築事業</td> </tr> </table>	事務事業を構成する細事業 【15】		①	広報たまな作成業務	②	ホームページ保守業務	③	ラジオ放送委託業務	④	市勢要覧作成業務	⑤
事務事業を構成する細事業 【15】												
①	広報たまな作成業務											
②	ホームページ保守業務											
③	ラジオ放送委託業務											
④	市勢要覧作成業務											
⑤	玉名市ホームページシステム環境構築事業											

《事務事業実施に係るコスト》

			H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	%					
		県支出金	%					
		起債	%					
		受益者負担						
		その他						
		一般財源		17,375	18,233	22,635	21,429	
	【16】 小計		17,375	18,233	22,635	21,429	0	
[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)			0	0	0	1,212		
職人 員 の 費	職員人工数		1.20	1.20	1.00	1.00		
	職員の年間平均給与額(千円)		5,610	5,424	5,424	5,424		
	【17】 小計		6,732	6,509	5,424	5,424		
合計			24,107	24,742	28,059	26,853		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 広報たまな作成業務	市民へ伝達する情報をとりまとめ、広報紙を作成する。	広報紙の作成ページ数	ページ	468	493	530	530
② ホームページ保守業務	市内外へ市の情報を発信するためホームページの整備を行う。	保守回数	回	2	3	2	2
③ ラジオ放送委託業務	市のイベント等をラジオを通して市内外に発信する。	放送回数	回	45	44	48	36
④ 市勢要覧作成業務	市の魅力や施策をとりまとめ、市勢要覧を作成する。	市勢要覧の作成部数	部	0	0	300	0
⑤ 玉名市ホームページシステム環境構築事業	市のホームページをリニューアルするための業務を委託した	コンテンツの移行数	数			3,000	

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	
1 ホームページ閲覧件数	ホームページにアクセスされた件数	件	1,200,000	1,200,000	1,200,000	2,200,000
			1,416,480	1,600,754	2,199,299	
2						

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	市は、市民に対して市の情報を等しく公平に提供する義務があるため、廃止などは考えられない。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	ホームページにアクセスされた件数、広報たまなの発行回数、ともに目標値と同等もしくはクリアしているが、より見やすく、わかりやすいホームページを目指し、日々改良していく。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	現在、月2回発行している「広報たまな」はタイムリーな情報を市民に届ける手段としては有効であるものの、近年の情報の増大と月2回の情報提供には、市民にとって情報の煩雑化にもつながっている。また嘱託員による配布の協力負担増につながっている。そのため情報を集約スリム化するため、月1回の広報紙発行を平成27年度から開始する。月1回になったもののこれまで以上に紙面を充実させ情報を発信していく。
昨年からの見直し・改善状況【32】	広報紙やホームページは、市民に分かり易く、簡潔な文書構成となるように、常に改善に取り組んでいる。また、ホームページは、スマホやタブレットPCなどとの端末にも対応することができた。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	今後も、市民に対し有益な情報発信のため、質の高い広報紙とホームページで提供し業務に努めていく。	評価責任者 酒井史浩
------------------	---	---------------